

# 埋文

## とやま

Toyama Prefectural Center for Archaeological Operations

2017.12.28

VOL

141



富山県指定有形文化財 南砺市立美遺跡出土品（南砺市立野新）  
《尖頭器3点、搔器3点、削器2点、錐形石器1点》

この石器は旧石器時代のもので、平成29年3月に富山県指定有形文化財（考古資料）に指定された立美遺跡出土品です。

使用されている黒曜石は化学分析により青森県産であるとされ、この時代に何百kmも離れた土地の人と交流していたことを示しています。

とっておき埋文講座 ● 開所40年記念特別展「遺跡保護のあゆみ—富山県40年間の発掘調査で解き明かされてきた歴史の数々—」

● 杉谷4号墳・6号墳の調査

埋文あらかると ● 出張埋文センター

Center Flash ● ボランティアさんのおかげです！

行ってこれよ ● 杉谷古墳群

富山県埋蔵文化財センター

# 開所40年記念特別展 遺跡保護のあゆみ

—富山県40年間の発掘調査で解き明かされてきた歴史の数々—

とっておき埋文講座①

平成29年10月6日(金)～平成30年3月22日(木)

## はじめに

当センターは昭和52年1月に設置され、4月の開所から40年が経過しました。この間多くの遺跡を調査してきましたが、調査の成果が十分に県民に紹介されているとはいえません。そこで、40年を契機に発掘調査などを手掛ける専門職員「文化財保護主事」の業務について焦点をあてることとしました。

なお、40年間に調査した件数は本調査や試掘調査を併せ1,521件で調査面積の総計は225万4千㎡にもものぼります。この展覧会では、

これらの調査がどのような契機で行われたかを振り返るとともに、調査の成果からどのようなことが明らかとなったかなどを展示するものとししました。

## 展示室に発掘調査現場を再現！

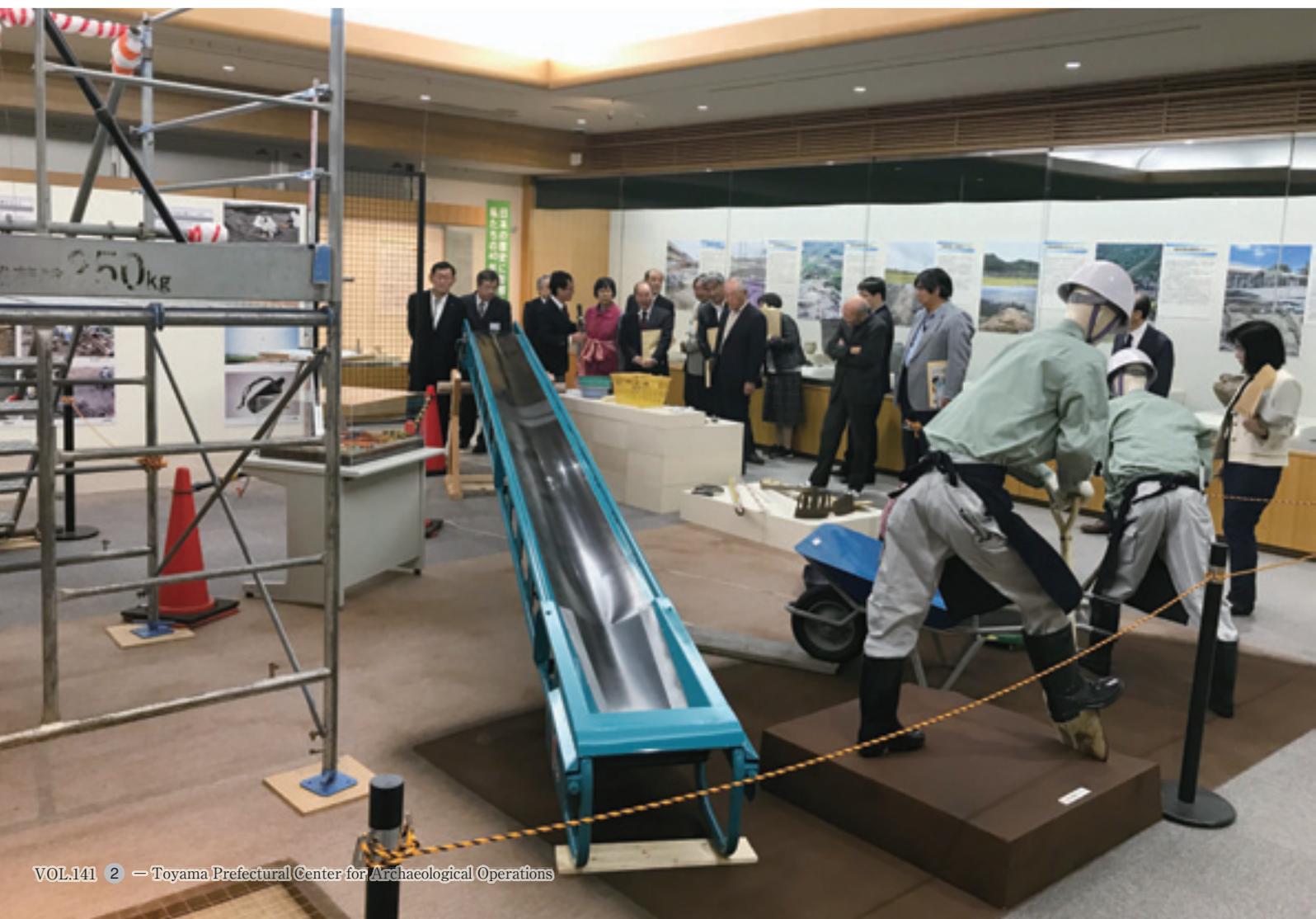
展示室中央には遺跡の発掘調査現場を再現しました。中央にベルトコンベアを1基配置し、その左右に作業員さんが土を掘削する様子を表現しました。スコップを用いて行なう「包含層掘削」、ジョレンを用いる「遺構精査」、最後に遺構そのものを掘削する「遺構掘削」といっ



40年間の調査遺跡



年表とジオラマ





こんな施設の下に遺跡が

た一連の作業のほか、一輪車やスコップなどのほか調査に用いるビニール袋や荷札、野帳といった小物や測量に用いる平板やレベルを配置し臨場感を出しました。さらにローリングタワーにのぼりウィスターから遺構を見ることができるように工夫をしました。

### 出土品展示の工夫

展示は、意外な施設の下にあった遺跡をクローズアップする方法で行いました。例えば、夏場の県民憩いの場である太閤山ランドプール広場には上野赤坂A遺跡があり、古代には製鉄が行われていました。すると、子どもたちは「ココに行ったことがある」という風に答えるなど、双方向でのやりとりができ、対話型の解説となりました。遺跡の紹介も、通常のような時代別や地域別ではなく、公園・学校・ほ場整備・道路・新幹線といったより身近な施設の順に展示を行いました。公園では、太閤山ランドプール広場（上野赤坂A遺跡）・県総合運動公園陸上競技場（南中田D遺

跡）・とやま健康パーク（任海宮田遺跡）、学校では富山国際大学グラウンド（東黒牧上野遺跡A地点）というように行ったことがあるかもしれない施設を中心に展示しました。

コーナーを違えてマニアックに40年間の調査成果でどのようなことが明らかとなったのかを中心に遺跡別に展示を行いました。取り上げた遺跡にはウワダイラ遺跡(旧石器時代)、境A遺跡(縄文時代)、江上A遺跡(弥生時代)、北高木遺跡(奈良時代)、開醇大滝遺跡ほか(室町時代)などを取り上げ、調査で何が明らかとなったかなどを展示しました。さらに遺跡調査にあたった文化財保護主事OBが記憶に残った調査遺跡を挙げました。遺物だけでなく、当時のカメラやフロッピーディスクなどの器材を展示するもので好評です。

### 往時の遺跡調査をスライドで

ロビーでは、かつての遺跡調査についてもスライドで紹介しています。100遺跡をノミネートし約20分程度のスライドを電子黒板で投影しました。この中には埋蔵文化財センター設置以前の社会教育課・文化課時代の調査も含まれており、当時を知る関係者などからは懐かしい風景だなどとの感想が出されていました。また昭和44年度から平成28年度までに刊行した報告書も陳列し、実際に手に取って読むことができるようになっています。

### 次の10年間にに向けて

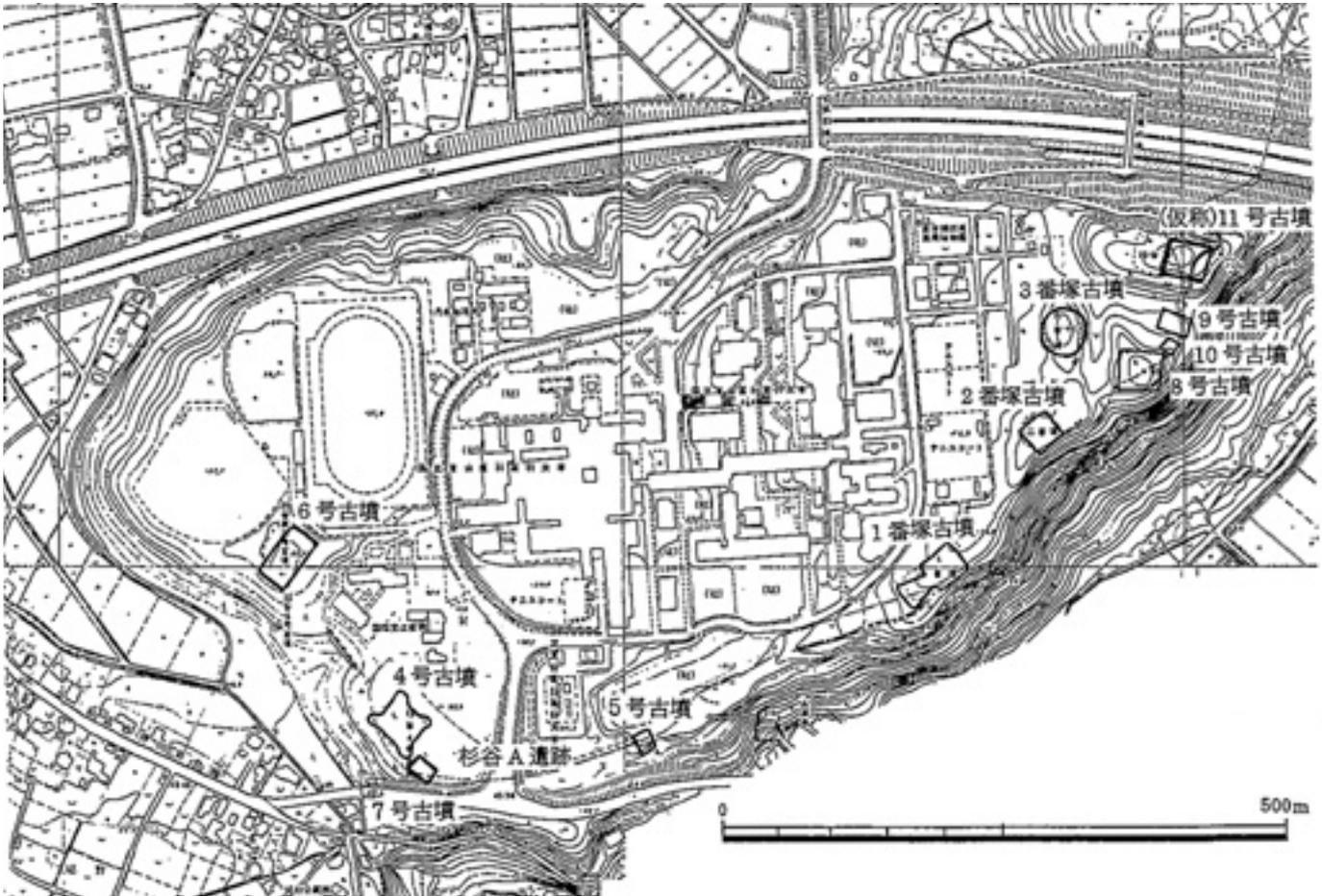
全国的にも県内の発掘調査は減少傾向にあります。埋蔵文化財センターの次の役割は、発掘調査で出土した資料の評価が重要な役割になると考えられます。これまでのセンターは主に調査が主体でしたが、出土品の価値を明確にするのも今後果たすべき役割と考えています。このほか現在行っている出前授業や出張埋文センター事業などをより充実させながら一般にもわかりやすい普及活動を図っていきます。（高橋 真実）



# 杉谷4号墳、6号墳の調査

とっておき埋文講座②

富山大学人文学部 准教授 高橋 浩二



杉谷4号墳、6号墳の位置 (古川1999を一部改変)

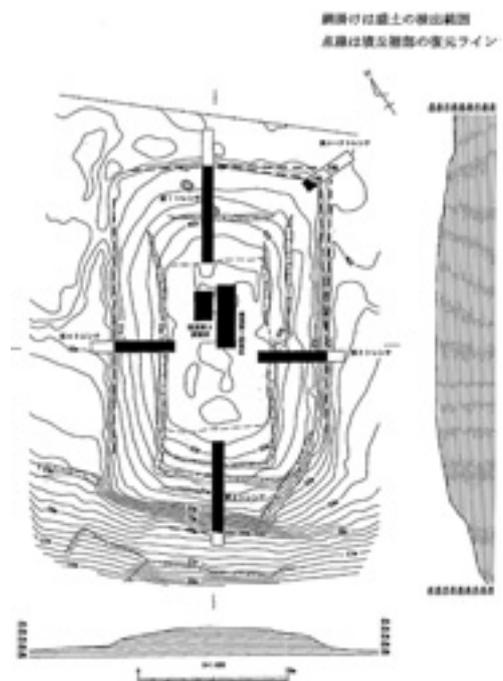
## はじめに

富山大学では、杉谷キャンパスにある富山市杉谷古墳群の調査を続けてきています。杉谷古墳群の場所は、富山県の中央を東西に分ける呉羽丘陵にあります。杉谷キャンパスの附属病院の裏のほうの奥の部分になります。杉谷古墳群の調査の歴史は古く、富山市教育委員会による調査が1974年に行われています。この調査で杉谷4号墳は、一辺が約25mの方形を基調とし、隅部に突出部が付く「四隅突出型墳丘墓」であることなどが明らかにされました。

## 杉谷6号墳の調査

杉谷6号墳は1974年に富山市教育委員会が試掘調査をし、長さ45m、幅30m、高さ約2mの規模をもつことが明らかにされました。しかし、この時の調査では、遺物は発見されませんでした。

富山大学では、2010年に墳丘北側、南側、東側、西側、2011年に墳頂部、墳丘東側コーナーの調査を行いました。この調査の成果として次のことが挙げられます。墳丘は長さが49.5m、幅28m、



杉谷6号墳の測量図



側辺を調査し、南側突出部はすでに削平されている可能性が高いこと、墳丘南東側の周溝底面近くで8世紀後半～9世紀初頭の須恵器杯が出土しており、この箇所の周溝が長期間開口していたことがわかりました。西側突出部の近くで周溝が見つっていますが、西側突出部は確認できませんでした。第4次では墳丘東側斜面、墳丘北東側斜面と周溝を調査しています。この調査では初めて、墳丘斜面を墳裾部から墳頂部まで通して発掘しました。その結果、旧表土（築造当時の地表面）の上に積み上げた盛土の高さが、墳丘東側で約2.5m、墳丘北東側で約2.45m残っていることが明らかになりました。第1次調査で約700点、2次で47点、3次で107点、4次で75点の遺物が出土しました。しかし、埴輪のようなものは確認されていません。

### 今後の課題

杉谷4号墳、杉谷6号墳の築造時期、杉谷古墳群の成立時期と変遷、杉谷4号墳と中国・山陰地方、北陸地方の四隅突出型墳丘墓との関係、杉谷4号墳の被葬者などの説明が挙げられます。

平成29年7月9日  
第2回県民考古学講座

### 〈引用文献〉

富山市教育委員会1974『富山市杉谷地内埋蔵文化財予備調査報告書』  
古川知明1999『杉谷古墳群』『富山平野の出現期古墳発表要旨・資料集』富山考古学会

高さ2～4mの長方形であること、突出部や周溝は存在しないこと、盛土は外側から内側へ向かって積み重ねられており、また平坦面を作りながら積み上げられていることなどがわかりました。方墳としては北陸最大の大きさになります。今回の調査でも埋葬施設は不明で、古墳に関する遺物は発見されませんでした。また、細長の長方形の形は、弥生時代の墳墓に認められる特異な形態と言えます。

### 杉谷4号墳の調査

杉谷4号墳も杉谷6号墳と同じく、1974年に富山市教育委員会が調査を行っています。隅部に長さが約12mで、先端がバチ状に広がる

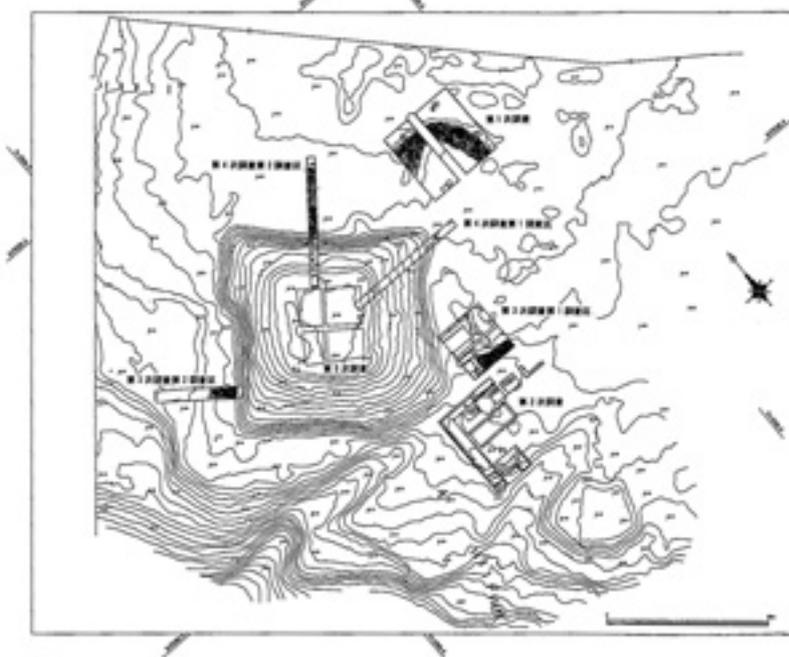
突出部が付く「四隅突出型墳丘墓」であること、また周溝を含めると、一辺が約47～48mの大きさであることなどが明らかにされました。

富山大学では、6号墳の調査に続いて2012年から4号墳の調査を続けています。第1次調査では東側突出部を発掘し、東側突出部は先端部が広がったバチ形を呈し、規模は方形部東側コーナーの現墳裾から測ると長さが約10.5m、最も幅の広い箇所は約13.5mから15.5mになること、東側突出部周溝は、墳丘側が広く深く、先端部側が狭く浅いことが明らかになりました。第2次では南側突出部周辺、第3次では墳丘南東側、墳丘北西

第3表 羽根丘陵及び具羽丘陵における主な墳丘墓・古墳の変遷

時代	高橋2007	土器編年	羽根丘陵 (宮崎)	羽根丘陵 (横沢)	具羽丘陵 (六拾古塚)	具羽丘陵 (杉谷古墳群)	具羽丘陵北端 (百塚古墳・百塚遺跡)
弥生時代		3群期	高崎3号墓	×	×	×	
		4～5群期	高崎1号墓 高崎2号墓 1・2号墓	×	×	×	
古墳時代		6群期		前501・2号墓	六拾古塚	杉谷4号墳	
	1期	7群期					S203
	2期	8群期	高崎千石 9号墓		向野塚		S204
	3期	9群期			新栄塚古墳		S202
	4期	10群期			王塚古墳		S201

※ 土器編年は高橋1991に基づき、×：四隅突出型墳丘墓、●：前方後方墳、■：前方後円墳、□：推定時期



杉谷4号墳の測量図

# 埋文 あらかると

## 出張埋文センター

### ◆出張埋文センターってなに？

当センターでは、春から夏の企画展、秋から冬の特別展とさまざまな切り口で展覧会を行っています。さらに、一般県民を対象とした「県民考古学講座」、夏休みの児童を対象とする「ふるさと考古学教室」を開催しています。

しかしながら、距離的な問題から当センターまでなかなか来られない人たちも多くなります。「出張埋文センター」は、市町村教育委員会と連携しながら当センターが保有する資料などを地域で展覧会や体験コーナーを開催するもので2年目を迎えました。

### ◆出張埋文センターinおとぎの森

夏休み後半の8月20日(日)に高岡市南部地域公民館と高岡市教育委員会の依頼で高岡市おとぎの森公園ガイダンス施設で「出張埋文センター」を開催しました。

地元公民館との打合せでは、北陸



新幹線を建設した際にどのような調査が実施されたか、付近にどのような遺跡があるか知りたいという2つの要望がありました。このことから当センターからは北陸新幹線で調査した遺跡(下黒田遺跡・下佐野遺跡・蔵野町東遺跡)出土品、高岡市からは3地区内で調査を実施した遺跡の展示を行いました。

会場がおとぎの森公園ということもあり270名もの見学者が一日でありました。見学者からは、普段、目

にすることのない遺跡の出土品が手の届く範囲に展示されたこと、また出土した際の様子などが調査した担当者などから聞いたことがよかったなどの声がありました。

親子でまが玉づくりを行う姿や土器パズルを楽しむ姿などさまざまでしたが、展示品を見ながらクイズを解くクイズラリーには設定年齢を大人向けとしていたにも関わらず、来場した小学生も熱心に解いていました。

このように夏休みのひと時の場を提供し、親子で楽しみながら歴史の一端に触れていただくことができました。今後は、地区センターやショッピングセンターの一角で開催するなどさまざまなバリエーションを考えています。(高橋 真実)



# Center Flash

## ボランティアさんのおかげです!



当センターボランティア(以下埋文ボランティア)は平成15年に18名で発足し、今年で15年目を迎えました。平成29年12月現在では、31名の方が登録しておられます。

ボランティアさんの活動日は、主に土・日・祝日です。活動内容は来館者への展示解説や、まが玉づくり体験・火起こし体験といった体験活動の補助です。

また、当センターの普及・啓発事業の1つである「出前授業・来館学習」にも関わっていただいています。「出前授業」の際には、小学校や公民館と一緒に行って体験活動の補助をしていただいたり、「来館学習」の際にはセンターで子供たちの活動補助をしていただいたりしています。

今回は28・29年度の2年間で、数多く活動していただいたボランティアさんをご紹介します。(50音順)

### ○I・Tさん

平成15年発足時からのボランティアさんです。元教員の方です。来館学習や団体の体験活動の際には、体験活動が思うようにできない子供には寄り添って補助をしたり、励ましたりしてください。自らも常に歴史を学び続けておられて、展示してある遺物や、歴史的背景にも大変造詣が深いです。

### ○I・Mさん

平成15年発足時からのボランティアさんです。「とやま埋文友の会」の理事も務めておられます。センターの「出前・来館予定表」から、団体の体験活動のため、補助の人手が必要な時は、進んでボランティアに来られます。夏の「ふるさと考古学教室」にも多く参加されているので、お世話になった子

供はたくさんいるでしょう。

### ○I・Sさん

ボランティア活動はセンターだけに留まらず、地元の学校や県の活動にまで及ぶボランティアの達人です。センターでは、主に団体の体験活動の際に多くボランティアしていただいています。今年度初開催だった「刀鍛冶体験」にも実際に子供と一緒に活動して、携わっていただきました。

### ○I・Kさん

土日の体験活動や、平日の来館学習の際に数多くボランティアに来られます。体験活動がスムーズに進むように、見通しをもって事前準備等を行われます。体験活動中も絶えず目を配り、思うようにできない子供には優しく補助していただいています。

### ○K・Tさん

大変向学心が高く、ボランティア研修で学習された火起こし器は自作されたり、自ら採取した土器についてセンター専門員に質問したりされます。また、常に来館者のことを気遣って、環境整備に力を入れ、落ち葉を何袋も集めて片付けたり、体験スペースを掃き清められたりしています。

### ○K・Tさん

出前授業の際には、フットワークよく南砺市や高岡市(福岡)等にも一緒に行ってください。もちろんセンターでの土日の体験活動や来館学習でも数多く来ていただいています。夏の「ふるさと考古学教室」では、特にガラス玉づくり体験には欠かせないボランティアさんです。教えてもらった子供はたくさんいるでしょう。

### ○T・Iさん

元センター職員です。土日祝の活動

ならば、南砺市・上市町・高岡市でも参加し、センターでの体験活動に数多くボランティアに来ていただいています。元職員として、どのように活動を進めたらよいか見通しをもっておられ、そのために必要なものを素早く準備されます。また、体験メニューも全てこなし、オールマイティーボランティアです。

### ○M・Kさん

土日に団体の体験活動がある場合には、進んでボランティアに来られます。いつも笑顔で来館者に接していただきます。上市町の生涯学習にも力を注いでおられ、当センターと連携した学習会等も企画されています。

### ○Y・Mさん

土曜日にセンターに来館したらほぼ確実に会えるボランティアさんです。「おじいちゃん先生」として、まが玉・火起こし・組むも体験は幼い子供でもできるように、やさしく教えて下されます。また、声かけも上手で、Y.Mさんに声かけられて再び来館されたり、夏の「ふるさと考古学教室」に申込みされたりという親子も多いはずで

紙面の都合上全てのボランティアさんは紹介できませんでしたが、まだまだ多くの方がいらっしゃいます。ボランティアさんあつての体験活動が大変多くあります。私もこの2年間大変支えていただきました。この活動に興味をもたれた方は、是非来年度のボランティアに申し込んでください。楽しい活動ですよ。お待ちしております。

(橘 泰弘)

# 行ってこられよ — 《71》

今度の休日、ちょっと出かけてみませんか。



## 杉谷古墳群

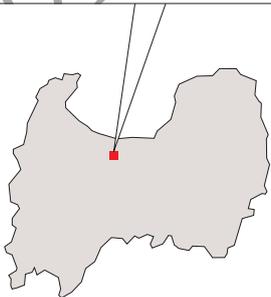
富山市杉谷地内

富山大学杉谷キャンパス内にある杉谷古墳群は、四隅突出型墳丘墓の4号墳や長さ49.5m、幅28mの方墳である6号墳、そして古墳時代前期の築造と考えられる約56mの前方後方墳である1番塚古墳など11基からなります。

当時の人々の様子を思い浮かべながら、遊歩道を歩いてみてはいかがでしょうか？



- バス  
富山駅から「富大附属病院行き」のバスで20分
- 自家用車  
北陸自動車道「富山西IC」から約4分  
「小杉IC」から約20分



### 編集後記

現在、40年記念特別展が開催されています。展示を見て、現地に行き発掘調査当時の様子を想像してみるのも楽しいと思います。(担当 米田)

### 富山県埋蔵文化財センターニュース「埋文とやま」vol.141

平成29年12月28日発行 編集／富山県埋蔵文化財センター 〒930-0115 富山市茶屋町206-3 TEL076-434-2814  
URL <http://www.pref.toyama.jp/branches/3041/maibun/>

リサイクル適性 (A)  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

